



新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会報告

子どものワクチン接種、安心して選択できる情報提供を

札幌市においては、12歳以上の新型コロナウイルスワクチン接種対象者の82.6% (12/10時点) が2回の接種を終えています。

■12歳以上の子どもへのワクチン接種については、子どもと保護者が事前に十分話し合う必要があり、子ども自身が接種を受けるか受けないかについて考え、判断することができるような情報提供が重要です。

■札幌市は、おとな向けの流用ではなく、子どもが理解しやすいように十分配慮し、北海道が

作成した若年層向け資料の活用や広報さっぽろ10月号の特集で情報提供したとのことでした。しかし、接種を受けない選択が尊重されることや接種をしないことが間違いではないことなど子どもの安心につながる言葉がありません。

■子どもが不安になる懸念があることから、ワクチン接種に係る資料等において、子どもにわかりやすく改善することを求めました。



委員会で質疑を行う石川さわ子 (2021/12/15、札幌市役所 16階、第1特別委員会会議室)

* * * 地域で安心して暮らせるまちづくりを * * *

身近な公園を利用しやすく



▲公園周辺での喫煙者が多く受動喫煙を心配する声が、ひとことアンケートに寄せられたことから調査し、改善点を検討しました。(11/3)

アイヌ民族への理解を深めよう Part2

宇梶静江さんが再話された絵本のDVD上映会を開催

「シマフクロウとサケ」は古い布とアイヌ伝統の刺繍を生かして作った「古布絵」で表現した物語で、アイヌの心を感じることができます。また、アイヌ民族の石井ポンペさん(原住民族の権利を取り戻す会代表)から、1970年に北海道100年記念事業の一環で建てられた北海道百年記念塔(厚別区)に対する思いを伺いました。石井さんは「先住民であるアイヌ民族の存在に配慮しないまま建てられた記念塔は受け入れがたい」「記念塔を解体し、跡地には木々を植え多様な人が集える場にしていきたい」と語られました。(北区民センター)



「さわ子とおしゃべりカフェ」で何でも意見交換



▲「高齢の家族の介護が大変」「子どもの不登校支援はどうなっているのか」など課題解決に向け、生活と政治をつないでいます。(北区民センター)

第1定は予算特別委員会があり、私は第1部に所属します。(まちづくり政策局、子ども未来局など)

札幌市議会を傍聴しよう!

■2022年 第1回 定例市議会 2月15日(火)~3月30日(水)

問い合わせ：札幌市議会 市民ネットワーク北海道
TEL 011-219-0112

※本会議の他、予算特別委員会もインターネット生中継です。

●市民ネットワークは、議員を特権化せず、市民の声を直接議会に届ける「代理人」と位置づけています。市民が政治の主体として参画していく仕組みをつくらせよう代理人運動を実践しています。



切り取り ✂

ひとことアンケート

■あなたが最近気になっていることは何ですか。
○印をつけてください。いくつでもOKです。
・子育て支援 ・防災、減災 ・介護保険
・若者の就労 ・障がい者支援 ・憲法「改正」
・気候変動対策 ・札幌の財政 ・マイナンバー制度

■新型コロナウイルス感染について、困っていることなどはありますか。

■その他、気になる事やご意見をご記入ください。

■よろしければ、ご記入ください。
あなたの年齢 (10・20・30・40・50・60・70・80~) 歳代

お名前

ご住所

TEL/FAX